

第39集

# あがるい こころ

差別のない明るい社会を目指して



江府町人権・同和教育推進協議会  
江府町教育委員会

# 目次

明治一五〇年から何を学ぶか ..... 1

性的マイノリティと人権 ..... 6

男女間の差別？あるよね！ ..... 10

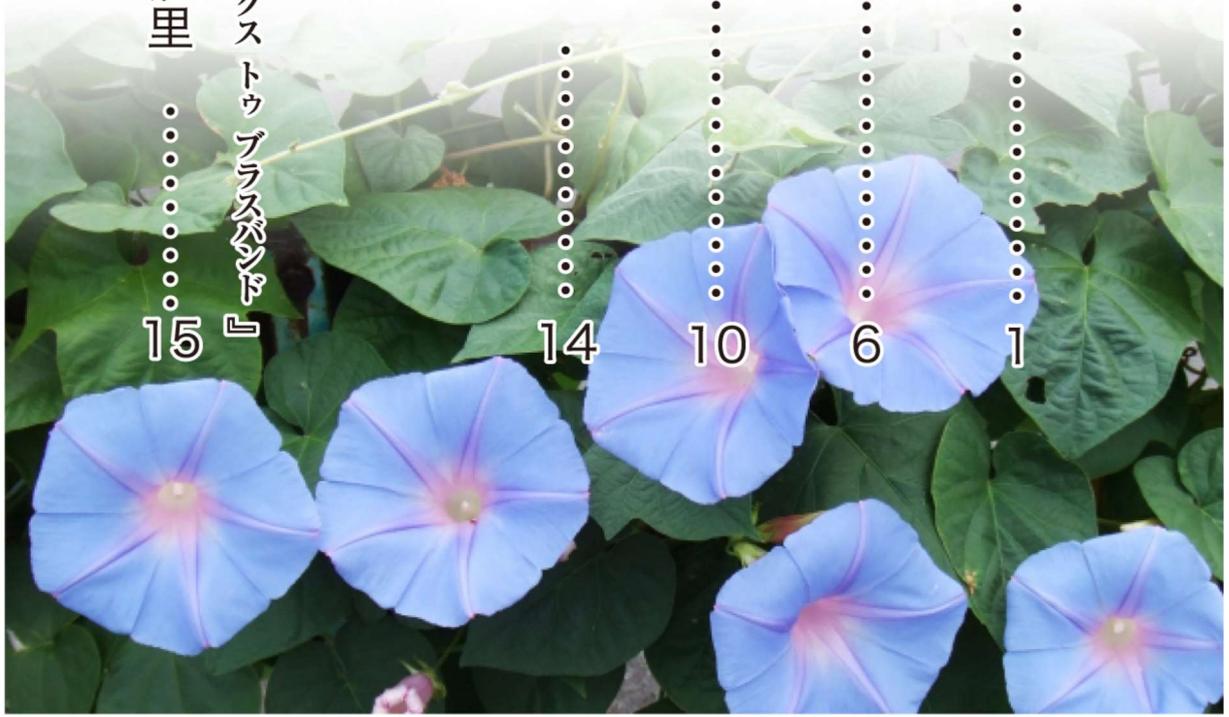
第二十二回「人権・同和問題啓発標語」入選作品 ..... 14

第二十二回「人権・同和問題啓発作文」入選作品

最優秀賞作品

『Thanks to brass band サンクス トゥ ブラスバンド』

江府中学校 三年 水 下 汐 里 ..... 15



# 明治二五〇年から何を学ぶか

一八七二年（明治四）八月太政官は、※注1だ じょうかん「穢多非人の称廃せられ候条、今より身分職業共、平民同様たるべきこと」と布告しました。この布告の意味するところは、差別的名称で江戸時代に最下層に位置付けられた人々を一般民衆と同じに扱おうと宣言したのです。

一七七八年（安永七）幕府が身分取締令を出し、鳥取藩が一七九九年（寛政十二）から追隨して数度にわたる取締令を発して定着させてきた差別思想を、明治になって同等であると宣言されても、一般民衆にとっては理解しがたい布告であったことは間違いありません。政府が従来の施策の誤りを国民に説明することなく一方的に発信しただけで、意識の变革にはなりませんでした。

その証拠に、翌年実施された全国統一戸籍の戸籍簿には、従来の社会身分的な差別事項が記載されました。ようやく、一九六八年（昭和四十二）三月から閲覧できないことになりましたが、閲覧停止まで約一世紀を要したことになります。

※注1 太政官……明治維新政府の最高官庁

この布告は、もう一つ配慮はいりよに欠けるものがありました。それは、江戸時代被差別ひの人たちに与えられていた生活の糧かてが、なくなることの意味しました。竹細工たけざいく、斃牛馬たおれぎゆうばの処理しより、門かどづけの芸能げいのう、などを任せられていたことが、「同様」ということになり、だれでも行えることになったのです。

また、犯罪追捕つひぶの仕事からも除外じまがいされることになり、一気に生活のために劣悪れつあくな環境かんきやうを強しいられることになってしまいました。

教育はどうでしょうか。一八七二年（明治五）「むら 邑に不学の戸こなく、家に不学の人なからしめん」とう  
たいましたが、子どもも家業かぎやうを支える一人であった  
り、授業料の納入のうにやう、学校での厳格※注2げんかくな試験があるなど  
して、通学できる者は一部でした。当初、被差別部  
落で、独自に学校を開いたところもあります。教  
員を雇やとう費用ひやうの捻出ねしでがままならず、数年で廃校ひやうに



なっています。このため、分校として学習の場が設定されますが、多くの場合、特殊部落として排斥された結果としての分校でした。

このような中、一八九七年（明治三十）『山陰の教育二十号』<sup>※注3</sup>では、鳥取県下の被差別部落一覧を掲載し、人口、児童総数、就学・不就学の人数をあげて、就学率の上がらないのは被差別部落に原因があると結論付けています。教育にしてこの認識でした。

政府は就学率向上のため、制度の整備を進める一方で、一九〇〇年（明治三十三）授業料を無料としたので、就学率は一気に向上することになります。また、学校教育が定着し、地域に教員がなじむことに伴い、社会教育分野にも期待されてきます。地域改善の意識の高まりの中で、矯風会（夜学）が開催されるようになります。このような中で、部落改善の一環として多くの村で伝統的な獅子舞などの門づけは廃止されることになります。

宗教はどうでしょうか。浄土真宗は平等主義を掲げており、常に部落問題の解決を求められる存在です。一九〇二年（明治三十五）五月慈善会財団が設立され、募金のために和歌山県に派遣された説教師龍華智秀師が差別発言を繰り返し、信徒が本山に訴える事件が

※注2「厳格な試験」……とても厳しい進級及び卒業試験があった。

※注3「山陰の教育」……鳥取県教育会事務局が発行した機関紙。

発生しました。二か月たっても本山からの反応がないため、全国の同志に経緯を知らせる檄文を送るとともに、大阪朝日、大阪毎日の両新聞社にも協力を申し出て問題を公表しました。十一月になって本山から処分が発表され、信徒に侮辱を加えたことを理由に、龍華智秀師は住職、巡教師を罷免され、太政官布告をもとに、心得て行動するよう通達がなされました。公文書によって部落差別の不当性を通達した第一号となりました。

地租(土地からの税)改正は、富国強兵・殖産興業などを推進する政府にとって、地租以外に頼るべき収入源のない状況の中で、「旧来の歳入を減ぜざる」を目的として行われただけに、土地改革であるとともに旧年貢水準を継承した高額地租をめぐらした租税改革でした。加えて国民の兵役義務を定めた徴兵令が出されるに至って、国民の不満は頂点に達しました。さらに学制公布となり、一八



七三年（明治六）会見郡（現西伯郡の一部）では六月十九日から二十三日にかけて二万二千人の参加した大一揆が発生しました。

一般の人たちにしてこの状況でしたので、生活の糧を失った被差別部落における窮状はさらに厳しいものがありました。このような中、江戸時代を懐かしむ風潮が存在しました。明治時代は、江戸時代の遺風が混在した時代といえます。

明治時代、日本は天皇を中心とした国の急速な近代化を進め、立憲政治を実現して日清、日露の戦争を経て国際的地位を得た一方、四民平等の施策は推進されませんでした。差別の実態の認識が、「矯風会」の開催にみられるように、差別される側に責任があるとしてその後進性の改善が求められ、根本原因に目を向けられることはありませんでした。そして、「特殊部落」が定着し、その詳細な一覧表が公表されて、新たな差別意識の出発点となりました。課題解決は、次の大正時代へと引き継がれます。

明治一五〇年、あなたは「明治時代」をどう思いますか。

※注4「概文」…自分の考えや主張を述べて大衆に行動を促す文書、励ましの文書。

※注5「罷免」…職務をやめさせること。

# 性的マイノリティと人権

皆さんは、性的マイノリティについて知っていますか。

私たちの周りには当たり前前に同性を好きになる人や、自分の性に違和感がある人など様々な人がいます。

今の社会で「異性を好きになるのが普通」「性の在り方は男と女だけである」などという「これが普通」「こうあるべき」だと思われる「性のあり方」に当てはまらない人たちのことをまとめて指す言葉を「性的マイノリティ」、「性的少数者」とも言います。

最近では、

**Lesbian**(レズビアン)【女性同性愛者】

**Gay**(ゲイ)【男性同性愛者】

**Bisexual**(バイセクシュアル)【両性愛者::両性に惹かれる人】

**Transgender**(トランスジェンダー)【体と心の性に違和感のある人。体の性別と異なる性別で生きる(生きたい)人。】



この頭文字をとって「LGBT」とも呼ばれています。

その他にもXジェンダー<sup>※注6</sup>など様々な性のあり方があります。

### 多様な性について

一般的に性は、「男」と「女」の2つに分けて考えがちですが、これは、生まれつきの「体の性」(戸籍上の性)で決められています。しかし「体の性」と「心の性」は必ずしも同じとは限りません。また、好きになる性も異性だけとは限りません。「心の性」や「好きになる性」は男と女に明確に分けられるものではなく、100人いたら100通りの性の在り方があります。「セクシュアリティ」は他人が決めるものではありません。

※注6「Xジェンダー」…性別を男女二分することにはなじまない人

その人だけの性のあり方があり、それは本人に聞かないと分かりません。このような性の在り方の事を「セクシュアリティ」と言います。

では、性的マイノリティの人はどのぐらいいるのでしょうか。

様々な調査によって、人口の約5%前後というデータがあります。そしてそれは、世界のどの地域、どの時代にも同じ割合と考えられています。これは、学校のクラスに1人の割合となります。

しかし、その存在に気づく人はなかなかいません。外見でわかることではないということもありますが、なにより本人が隠さざるを得ないからです。

誤解や偏見のある社会の中では、「言ったら嫌われるかもしれない」「気持ち悪いと思われるかもしれない」等、様々な不安があり、自分の生活を守るために、そう簡単に周りに話すことのできない状況にあります。

一人一人違って当たり前であるのに「違い」を理由にいじめや差別をする人が世の中には少なからずおり、そのため、ありのままの自分を隠して生活をする人が多いのが実情です。

では、そのように様々な人がいる中で、性的マイノリティの人が直面する問題を見ると、

○パートナーが同性の場合、パートナーが事故にあっても法的な親族でないため連絡がもらえ

ない、面会できない、手術の同意書にサインが出来ない場合がある。

○心の性と異なる性の制服を着ることに違和感がある。

○トイレはどちらに入ればいいのか、人目が気になって我慢してしまおう。

○履歴書の性別欄にどちらの性別を書けばいいのか悩む。

など生活の様々な場面で生きづらさを感じる要因となっています。

あなたの周りにも性的マイノリティの人はいます。あなたの何気ない言動が知らないうちに大切な人を傷つけているかも知れません。

あなたも含めすべての人が多様な性の中の一人です。誰もが自分らしく生きやすい社会をつくるために、「性のあり方」について正しく知り、考えていきましょう。

鳥取県総務部人権局 人権・同和対策課「性的マイノリティの人権 多様な性について考えよう」誰もが自分らしく生きやすい社会を〜より

心の性と異なる性の制服を着ることに違和感がある。



パートナーが同性の場合、パートナーが事故にあっても法的な親族でないため連絡がもらえない、面会できない、手術の同意書にサインが出来ない場合がある。



## 男女間の差別？ あるよね！

ある日の午後、連休を利用して帰郷した友達を囲んで仲良く過ごす3人の楽しそうな会話が聞こえてきました。『A子ちゃん元気だった？ ずいぶん頑張ってるみたいね。』『少しはね。でも都会で働くって大変なのよ、特に子どもを育てながらのお勤めはね。』と言って会社や家のことなどを話し始めました。会社には電車で通うこと、雇用条件に男女の差はあまり感じられないこと。共働きのこと。子どものことなどあれこれと話しています。

特に子どもが病気になると夫も協力はしてくれませんが、たいがいは自分が会社を休んで病院に行くそうです。そして家事をしながら溜まった仕事のことを考えると余計に疲れるとか。『なんか女って損よね。』

それを聞いていたB君が言います。『ほんとに大変だと思うけど男はもっと大変だからね。』と自分のことを話します。責任のある地位にいること。報酬のこと。やはり通勤電車は疲れること。セクハラやパワハラと言われなければならないように気を付けないといけないことなど。最近では男のほうがいろいろ言われるのでほんとに大変と言いきります。

『だって、都市部では女性専用の電車だってあるし、レディースデイと言っているいろいろなサービ



スを受けて優遇ゆうぐうされているんだよ』『あら、それは昔から女性が差別を受けて虐げしいたられていたからよ、だって、単純な作業ばかりで賃金も男性より少ないからまじめな女性に社会が褒美ほうびをくれるのよ』と言い出したのは地元で暮らすC子ちゃんです。B君曰く『ほらそれだよ、昔は別として今は、そんなことないのに…』と少し不ふ服ふく気味きみです。『A子ちゃんはどう思う？』『そうね、報酬が同じだと、同じ仕事をこなさなくちゃって、負担は大きいわね。だから簡単に休めないのよね』『B君。おうちの仕事ちゃんと分担してる？ 奥おく様任みせじゃないの。』『もちろん、やってるつもりだけどそう言われればそうだよな』と肩かたをすくめてみせるB君です。

男女平等、男女同権が叫ばれて久しいにもかかわらず、女性と男性の間の相互理解はいまだ深まりを欠いたままのようです。なぜなのか私たちはしっかりと考えてみる必要があります。

最近の事例では、緊急事態が発生した大相撲の土俵上に女性があがることが制止されましたし、よく見かける光景として使用中の男性用公衆トイレを女性が清掃しています。スポーツ施設の男性脱衣場の係は多くは女性です。もしこれが逆ならどんな反応があるでしょう。また、食事の後の家族団欒のさなか、多くの場合あと片付けは、女性がするというデータもあり



ます。更には育児休暇きょうかについて女性は比較的取りやすいものの男性の場合は抵抗ていこうがある、などがあります。

今述のべた事例は現実にある事象です。残念ながら日本ではいまだに男女に対する差別が存在すると言わざるを得ないので。

近年になりこれらを解決しようと様々な取り組みが行われ改善されつつありますが、まだまだ社会全体に浸透しんとうしていないのが現実のようです。男女が互いに適性を認め合い同等に暮らしていくために差別に気付き一人一人が意識を改善し差別解消のための行動を起こすことが、社会の根底こんていから差別をなくすことになるのだと考えます。

皆さんの周りにも、男女の格差や差別的なことがありますか？これを機会にご家庭や地域で話し合ってみてはいかがでしょう。明るい未来につながる第一歩になること間違いないです。

\*（工事中のトンネルは二十一世紀になっても女人禁制の風潮ですが、町内のトンネル工事ではこの程多数の女性を含む見学会が開催されました。）

# 第二十二回「人権・同和問題啓発標語」入選作品

## 【小学生標語】

### ◆最優秀賞

手と心 つないでつくろう きずなの輪

五年 谷田 花奈

### ◆優秀賞

ひとりより きょうりよくすると すぐできる

一年 山下 健佑

わる口を いってないかな きょうのぼく

二年 藤原 聖

「大じょうぶ」「がんばってるね」言われてうれしい まほうの言葉

三年 遠藤 佑花

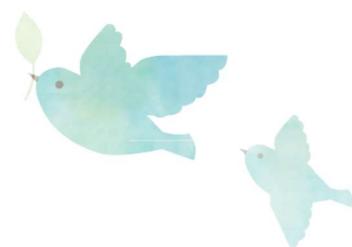
これどうぞ こまった人に 言いたいな

四年 岡田 翔愛

差別のない 明るい社会を 目ざそうよ

六年 村上 龍輝

(江府町が平成二十九年に募集した啓発標語入選作です。)



# 第二十二回「人権・同和問題啓発作文」入選作品

## 【中学生作文】

◆ 最優秀賞

Thanks to brass band (サンクストゥ brass band)

江府中学校 三年 水 下 汐 里

みなさんには素直すなおになれる場所がありますか？今では胸むねを張って部活です、と答えることができません。部活は自分が自分らしくいられる大切な場所になりました。

以前の私は、全員で一丸となり、何か一つのことをやり遂とげる……。そういうどの部活でも言われる流れが嫌いでした。みんなで何かを成なし遂げなければならぬ場面に遭あい遭遇するといつも、私は壁かべの向こう側の存在でいました。「私なんかいたら、邪魔やまになる。」とずっと隠かくれていました。しかし、今思えば、それは自分から「みんなの中に入りたくない。自分がいなくても他の人がやってくれるからいいや。」という甘い思いで自分自身が壁を作っていたのです。

中学生になり、部活を決める時、入部体験も一、二回程度行ってみたいくらいで、運動が苦手だし……という理由で吹奏楽部を選びました。しかし、吹奏楽部は思った以上にキツくて、しんどいものだというを入部してからわかりました。あまりやりたくなかった楽器に決まったし、立っているのがえらいし、「何が吹いて奏でて楽しいんだよ！私なんていなくても同じなのに。なんで私がこんなことをやらないといけないんだ。」と全部投げ捨てたくなるような日々が続きました。

そんな時、私の目に留まったのは、私たちと同じ時期に吹奏楽部に入部した、二つ上の先輩でした。その先輩は練習の時に手を止めたのを見たことがないくらい、練習熱心な人でした。同じ時期に始めたはずなのに、よくリズムや楽器についてのことを教えてくださいました。周りの人への気づかいをしているにも関わらず、自分のパートは完璧にできています。いつの間にか私はその先輩に憧れるようになりました。

「私も先輩のようになりたい！」と部活をがんばろうとしたけれど、あまりうまくいかず、よく先生に怒られたし、怒鳴られたりもしました。しかし、コンクールでの演奏は、当時、あまり音楽の感覚がわからなかった私でも何かを感じました。それは、間違えずにでき

たからでもなく、自分がいい音を出したからでもなく、一つの「音楽」になったからです。

誰一人抜けてはならない江府中の吹奏楽部がこの時一つになったのです。この時初めてみんなで心一つにすることは素晴らしい、と感じました。それと同時に私を覆っていた壁もなくなりました。

その後先生に、「ここ、良かったよ。」

と言われ、「私の力が役に立ったんだ。私は邪魔じゃないんだ。」と思いうれしかったです。

今の江府中の吹奏楽部は一人、また一人と背中を見送る人が増えているし、雰囲気も緩くなりつつあります。でも私は雰囲気負けず、残りわずかの部活動で自分の「吹奏楽が大好きだ。」という気持ちを貫き通したいです。

みなさんも自分なんていなくても一緒だと思ふ時もあると思います。でも、どこかで自分を必要としている存在は必ずあります。だから、自分らしく生きて行ってください。

### ◆ 優秀賞

●「自分はどんな存在？」 江府中学校1年 岡田陽向

●「笑顔の力」

江府中学校2年 下村早希

(江府町が平成二十九年度に募集した啓発作文入選作品です。)

生涯学習基本テーマ  
明日へ生きる私を求めて

第39集／2018年8月24日

印刷 株式会社高下印刷  
イラスト 永井 日香里